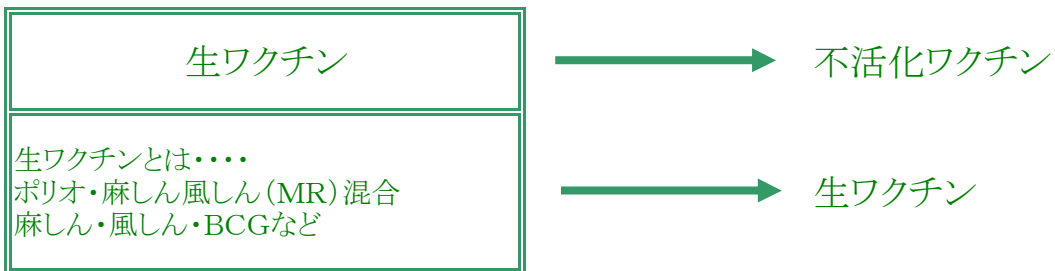
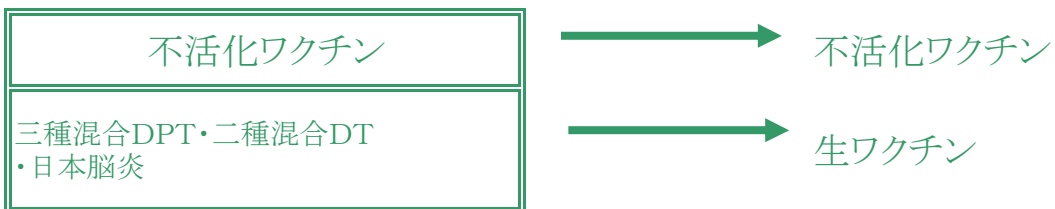


## 異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔

予防接種で使うワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、異なった種類のワクチンを接種する場合に間隔を守ることが要です。



生ワクチンを接種した日の翌日から起算して、別の種類の予防接種を行う日までの間隔は、27日以上おく



不活化ワクチンを接種した日の翌日から起算して、別の種類の予防接種を行う日までの間隔は、6日以上おく

定期の予防接種は個別接種が原則となっています。予防接種の具体的な順序や日程は、お子さんの体調、病気の流行をみて、かかりつけ医と相談して決めてください。なお、ポリオは集団接種で行っております。